

「お子さんを言葉で生活に招き入れましょう」

生活は家族みんなが参加して

●赤ちゃんは、何もできない？ してあげなくちゃ？

★赤ちゃんは理解している

赤ちゃんは、すでに大人の間き取りやすい言葉を大体理解できます。
なぜなら、聴く力は、既にお母さんのお腹の中から育っているからです。

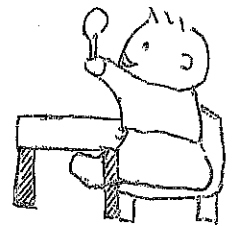


●言葉かけを子どもにしましょう

★赤ちゃんは、家族の一員として家庭の生活に参加したがっています。

腹這いになると視覚が自分である程度選べるようになります。
赤ちゃんは家族を見渡して、自分もこの環境の一員であると欲します。
だから、赤ちゃんにわかるように話しかけましょう。理解しています。

ごはん
たべますか？



●話し言葉のポイント

★子どもの指さしや音声、赤ちゃん言葉に対して

★短い言葉に換えてきもちを受容する

「〇〇よ」

「〇〇したかったのね」

ボール、
ボール
いりますか？



●「～しましょう」と言う前から援助する

★日常のお手伝いをする時は、子どもと目を合わせ
子どもの同意を得てから行いましょう。

(大人も自分の仕事の領分を他の人に勝手にされると嫌ですね？)

★「パンツをはきましょう」「足を入れるよ」

何かする時は
言葉かけで誘いましょう

●正しい言葉を伝えましょう

- ・マンマ…「ごぼん」
- ・ぶっぶー…「くるま」
- ・ワンワン…「いぬ」

子どもには、初めの記憶が残ります。
憶え直しは大人も嫌ですね？

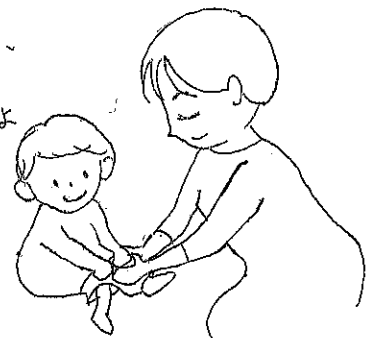
ごぼんです



おみそは
です



あし、
あしを
いれるよ



あれが
ほしいの？



ぼうし、かぶりますか？



●名詞、動詞の 2 語文で

「絵本(を)下さい」

「椅子(に)座る」